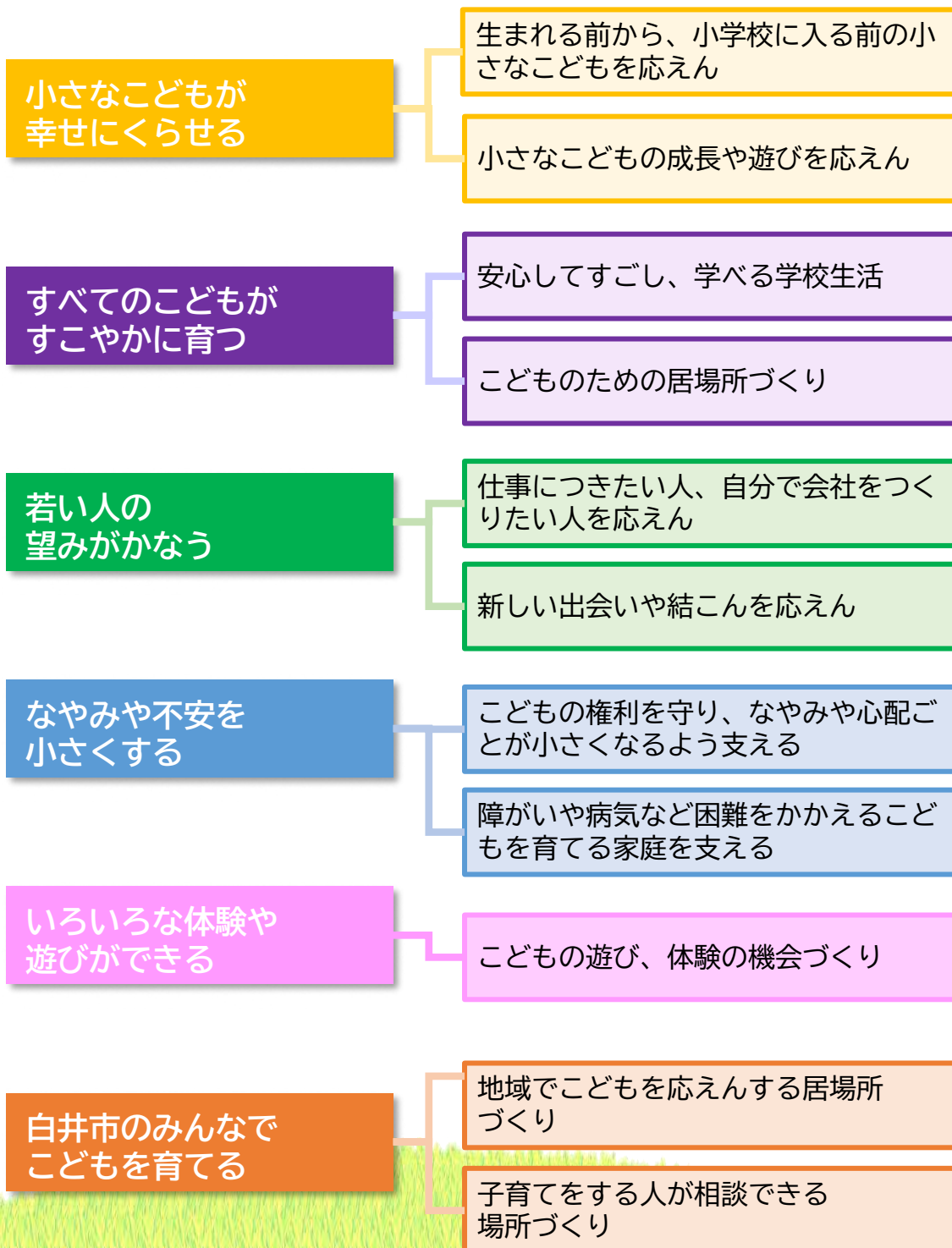


この計画で取り組むことの全体図

「オールしろい」でつなぐこどもの幸せ（ウェルビーイング）



しろいこどもプラン 【こども版】

令和6年12月時点
白井市役所 健康子ども部 子育て支援課
〒270-1492 千葉県白井市復1123番地

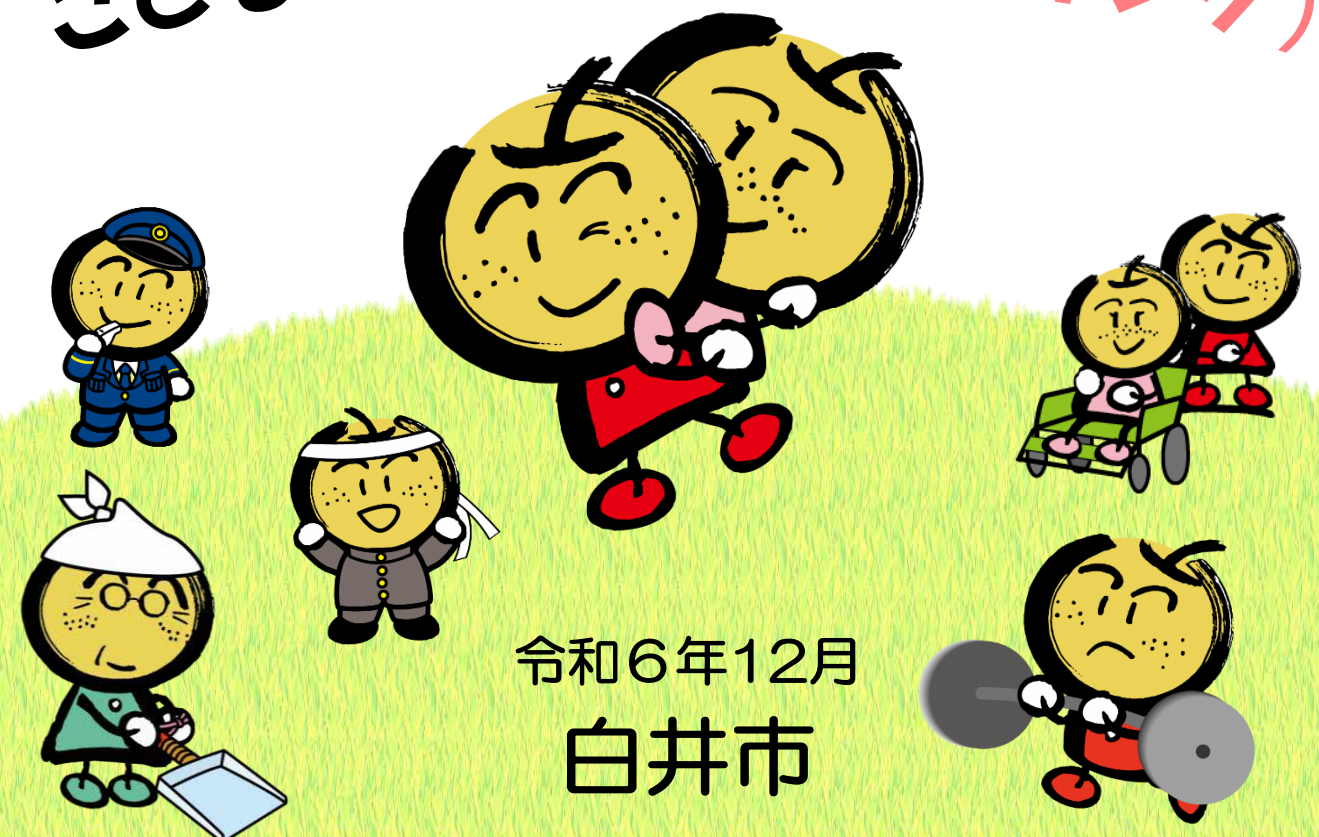


こども版

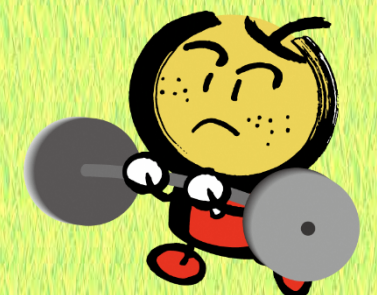
しろい こどもプラン

すべての こどもと若者が
自分らしく 望みをかなえながら
今も これからも
幸せに暮らせるまちになるように
白井市の 市民みんなで 応えんするプラン（計画）です。

“オールしろい”で つなぐ
こどもの **幸せ（ウェルビーイング）**



令和6年12月
白井市



はじめに

しろいこどもプラン

白井市には、約9千700人※のこどもがいます。
そして、一人ひとりに、健康で、幸せに育つ権利があります。
もちろんあなたもその一人です。

って なに？

「しろいこどもプラン」は、こどもたちみんながその権利を守られながら、元気で幸せにくらしていける社会をめざして、白井市がこれから進めていくことをまとめたプラン（計画）です。

白井市がめざすまちは こんなまち

1

小さなこどもが
幸せにらせる

赤ちゃんや、小学校
に入る前のこども
が、安心して生活で
きるようにします。

2

すべてのこどもが
すこやかに育つ

小学校から、中学校を卒
業した後まで、みんながい
きいきと育っていけるよ
うにします。

3

若い人の
望みがかなう

仕事につきたい、結こんし
たい…。若い人のそんな望
みがかなえられるように
応えんします。

4

なやみや不安を
小さくする

こどもが、なやみや不安な気
持ちをかかえたままになら
ないようサポートします。

5

いろいろな体験や
遊びができる

こどもが、地域の中でのびの
びと遊んだり、いろいろな体
験をしながら、自分の幸せを
見つけていけるようにします。

6

白井市のみんなで
こどもを育てる

こどもを育てている人を、
白井市のみんなが協力
しながら応えんします。

めざすまちの キャッチフレーズ

“オールしろい”で つなぐ こどもの幸せ（ウェルビーイング）

市役所、ようち園・保育園
や学校、地域のグループの
ほか、白井市に住んでいる
人や働いている人など、す
べての人が、力を合わせ、
協力し合うということです。
みなさんもその一員です。

こどもたちの幸せを願う気持
ち、こどもや若者を応えんす
る活動が、白井市全体に広
がり、つながっていくようにし
よう、ということです。

一人ひとりが夢や希望をもち、今も、未来も
「自分は幸せだ」と感じながら生活していける
状態のことです。

だから
白井市
では

こどもにとって、もっともよいことは何か、
こどもの幸せとはどんなことか、
アンケートやワークショップの
こどもの意見や声を大切にしながら考えて、
めざすまちをつくっていきます。

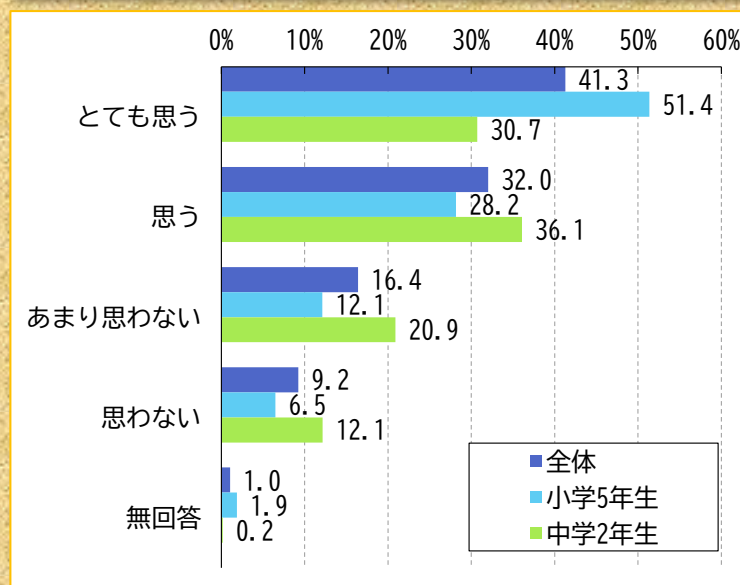


進めて
いくよ

夢や希望、いろいろな 体験を応えんします

こどもの意見・こどもの声

Q 自分にはしょうらいの夢や目標があると思う？



しょうらいの夢や目標があると思う人が73.3%でした。「思わない」という人も少しいます。

こんなことが
できるといいな

自然とふれ
あう体験

梨に関する
社会科学習

イベントに参加したり、こどもたちでできるイベントを開く

学校を楽しく。学校を使って地域の人も交流

世代をこえた交流

白井市の自然や梨に関する体験や、地域の人と交流したり、イベントづくりにチャレンジしてみたいという意見があります。

多くの人が、将来の夢や目標を持っています。そして、いろいろな体験や交流をしてみたいという希望があります。
そんな気持ちを実現できるチャンスがいっぱいあるといいですね。

白井市が進めること

こども・若者体験会

こどもや若者が、地域のイベントやお祭り、自然観察や農作物収穫などの体験会に参加できるようにする

こども・若者の 活やく機会の仕組みづくり

こども・若者のグループがイベントなどでお店をだしたり、チャレンジ、活やくするためのサポートをする

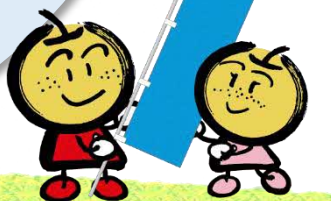
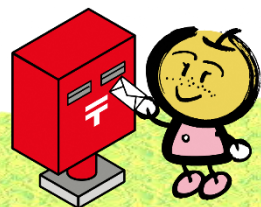
地域の人と協力した 学校づくり

学校生活が楽しく、じゅうじつするよう、地域の人が授業で教えたり、部活動をサポートする

ふれあい事業

こどもがお年寄りやふれあい、白井市の伝統文化を覚えてもらう

など

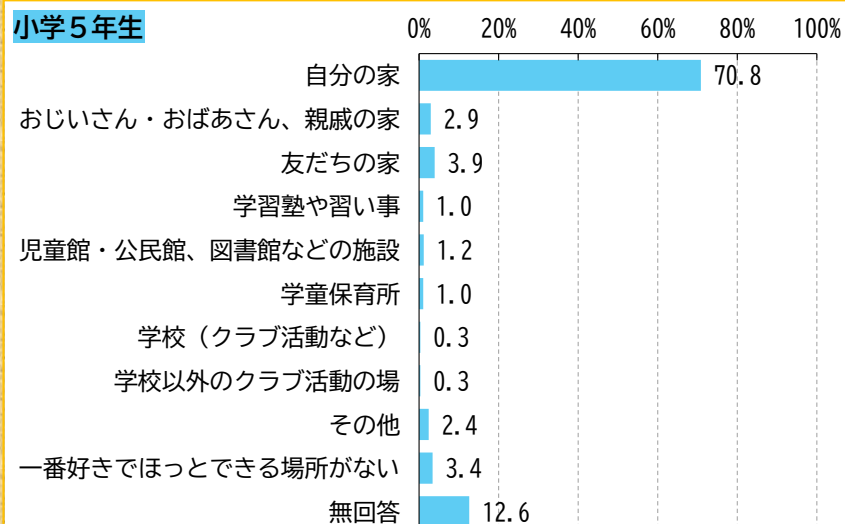


進めて
いくよ

安心して 楽しく すごせる場所をふやします

こどもの意見・こどもの声

Q 一番好きで、ほっとできる場所はどこ？



一番好きでほっとできる場所は「自分の家」がナンバーワン。

こんな場所があるといいな

自習やお話ができる場所

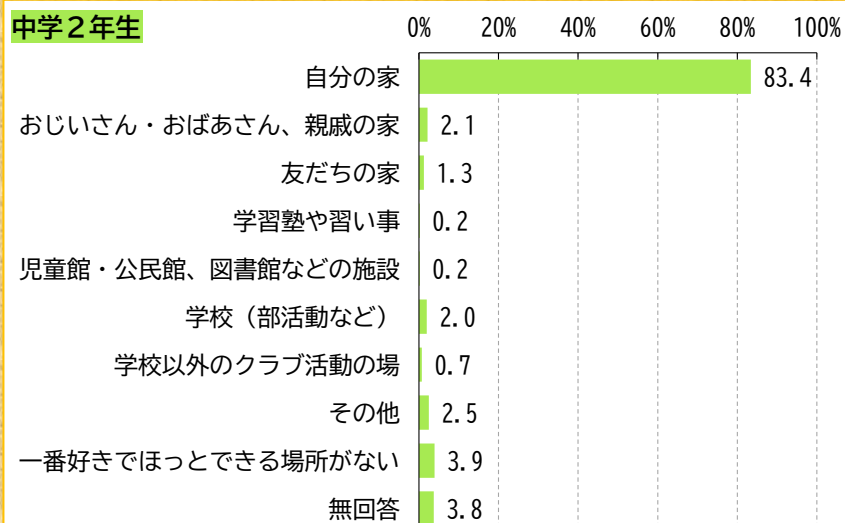
サッカーゴール、バスケットゴールがある公園

遊べる場所

放課後の居場所

親子で楽しめる場所、どの世代も楽しめる場所

スポーツや遊べる場所、どの世代も楽しめる場所という意見がありました。



自分の家のように、安心して、楽しくすごせる場所が、家の外にもいろいろあって、遊んだり、学んだり、いろいろな人と交流できるところがたくさんあって、みんながその中から行きたいところ、すごしたい場所をえらべるようになるとステキですね。

白井市が進めること

こどもの居場所づくり応援

こども食堂や勉強を教えている地域の人を応援して、こどもの居場所をふやしていく

放課後子ども教室

地域の人と協力しながら、学校でさまざまな体験活動や交流活動を行う

こども・若者の活動の場

こどもや若者が地域で気軽に集まって、交流や活動ができる場所をつくる

図書館こどもサービス、こども向けプラネタリウム

こども向けの読書の集まりや推せん図書の展示、星座や話題の天文現象、宇宙の広がりを楽しめるこども向けプラネタリウムの投映を行う

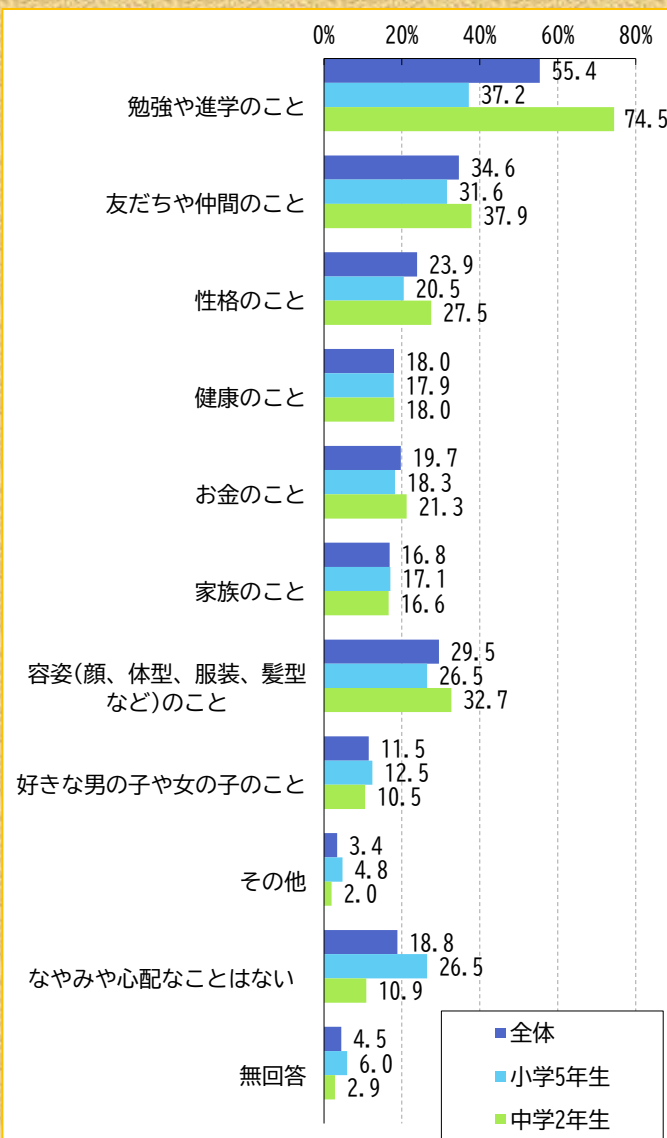
など

進めて
いくよ

すべてのこどもが のびのび育つまちにします

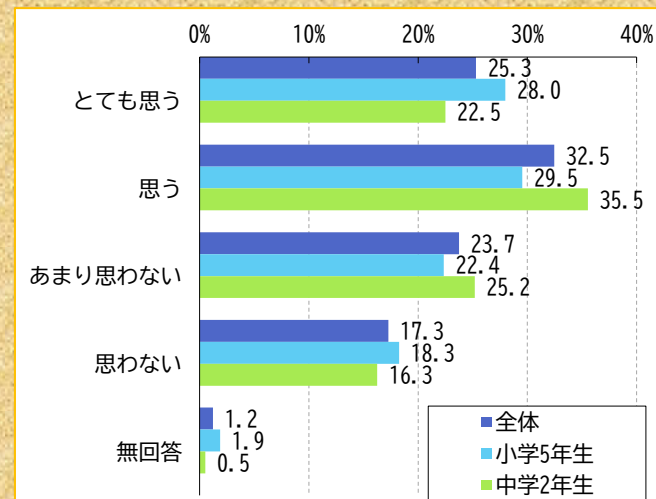
こどもの意見・こどもの声

Q なやみや心配ごとは？



「なやみや心配なことはない」人は18.8%いますが、多くの人になやみや心配ごとがあります。今のなやみや心配ごとは「勉強や進学のこと」が55.4%で一番多く、友だちや仲間のことや自分自身のことなどが続いています。

Q 「自分のことが好き」と思う？



「自分のことが好き」というのは、元気でいろいろなことにチャレンジできる大切な思いです。そう思う人のほうが多いけれど、そう思わない人もいます。

なやみや心配ごとはだれにでもあります。勉強のこと、友だちのこと、自分のこと…。もし、なやみや心配ごとがあっても、自分だけでかかえこまないで、だれかに相談できたり、話を聞いてもらえるといいですね。そういったサポートを受けられることも、こどものみんなが持っている権利の一つです。そして、こどもの権利について、すべての市民が知り、守っていくことも大切なことです。

白井市が進めること

人権教室

こどもたちが、自分や他人の人権を尊重することの大切さについて学ぶ教室を開く

こども自身も相談できる窓口

こども自身や親、こどもに関わる地域の人など、だれもがなやみや困りごとなどをかかえこまずに相談できる窓口があることを広く伝える

こどもの権利を知ってもらう

こどもの権利が守られるよう、こども自身や親、地域の大人に対して、市の広報、ホームページ、しろいまっち、チラシなどで広く知らせる

思春期の課題への取り組み

育ちざかりの小・中学生が、心も体も健康に育つことができるための正しい知識を持てるように情報を提供する

など

進めて
いくよ

こどもと こどもをとりまく すべての人を応えんします

白井市が進めること

生まれる前から 赤ちゃんを 応えんします

こどもが生まれる前から、生まれた時、大きくなるまで、小さなこどもの健康を守るため、相談にのったり、いろいろな健康しんだんを行って、赤ちゃんやその親を支えます。



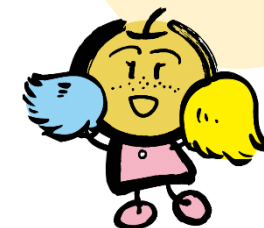
若い人の望みを 応えんします

仕事につきたい人や、自分で会社をつくりたい人、結こんしたい人など、若い人の望みが白井市でかなえられるように応えんします。



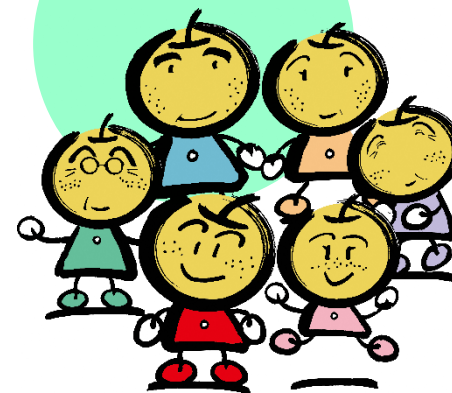
こんなにかかえる こどもと家庭を 応えんします

障がいや病気、お金の苦労、お父さん・お母さんのどちらかがいないなどにかかわらず、すべてのこどもと家庭のなやみごとや困りごとが小さくなるように、相談にのったり、お金のえん助をしていきます。



白井市のみんなで 子育てを応えんします

子育てに困ったときに地域で気軽に相談できる場所をつくります。また、こども食堂や勉強を教えてもらったり、地域の人たちと交流できる居場所をふやしていきます。



白井市のみんな
なしかつミミ